小型移動式クレーン運転技能講習

講習：7月19日(土) 多摩西部支部
7月20日(日) 多摩西部支部
実技：7月21日(月) 西多摩支部
※3日間の講習です。講習と実技で会場が変わります。
受講料：32,000円と写真1枚

けんせつ たま西部

発行所
東京土建一般労働組合
多摩西部支部
昭島市中神町2-4-19
電話 042-546-1577(代)
発行責任者 鶴岡誠一

組合の仲間を増やす 春の拡大月間成果180人

月間本部目標3%・年間5.5%達成
支部目標98人を超過達成

年間拡大278人へ

青年・シニア・主婦も目標達成！
写真は5月18日(日)の中間決起集会の様子

5月31日現在

分会名	目標	成果
砂川	7	★7
けやき	8	★12
高松	8	★12
国立	6	★6
立南	5	★5
富士見	7	★8
昭島中央	5	★9
玉川	4	★5
朝日	5	★5
拝島東1	7	★10
拝島	8	★17
事業所	18	★73
直属	10	★11
合計	98	★180

全分会目標達成で82人超過
加入キャンペーンと社会保険加入を訪問の話題に

組合の仲間を増やす春の拡大月間は1月組織現勢の3%、98人を目標に「支部・全分会目標達成で1月現勢突破を目指そう」をスローガンに4月から5月末までの期間で取り組まれました。

この月間では、訪問の話題として新規組合加入キャンペーンと支部開催資格講習会のチラシを用意して未加入者訪問を進めるとともに、組織内外に向けて組合の業務案内と「社会保険加入相談は組合へ」と打ち出したクリアファイルを作成して、組織配布と未加入事業所ダイレクトメール、建デポプロ立川店への設置を実施し、組織内事業所からの紹介や資格取得講習会受講の問合せが続きました。

4月10日～11日の行動初日を分会拡大出陣式として取り組み、4月13日の支部定期大会後に開催した支部拡大出陣式では全分会から2人以上の加入成果持寄り（合計34人）があり、スタートダッシュに成功し5月18日の中間決起集会でも全分会からの成果持寄りがあり、当日成果の合計は50人。この時点で月間累計成果は140人となり、支部と本部目標を達成することができました。5月30日の拡大打上式では全分会が目標を達成。春の拡大月間の累計成果180人で年間拡大率は8%に達しました。拡大月間にご協力・ご奮闘いただきました皆様に感謝申し上げます。

社会保険加入については8月以降の国土交通省発注工事からの未加入業者排除が決まり、より一層「加入相談は組合へ」の声掛けが重要となります。

資格取得を希望する事業所で出張講習も実施

年間掛金3千円で5万円保障

どけん火災共済は、50口加入の5百万円保障の場合、年間掛金は木造住宅で3千円、鉄筋住宅なら1千5百円ととてもリーズナブルです。住宅と家財のそれぞれで加入できますのでローン中の住宅やマンションなどで家財だけ加入したい場合などにも最適です。多摩地域で多い落雷などの自然災害にも対応します。ご自宅の加入なら手続きも簡単。しかも6月末までならクオカード進呈。火災共済に加入するなら今でしょ。

拝島分会は月間成果17で年間達成まで、あと1人へ

6月末までの加入者にクオカード進呈

火災共済に加入しよう

加入促進月間中のため、新規加入者に500円のクオカード進呈中。家財のみの加入などマンションの方もお気軽に保障アップできます。

日本一安い掛金
安心の保障内容

今回は50口以上増口の方にも500円クオカード進呈！

なぜ、消しゴムで文字が消えるのだろうという同僚の質問から普段なにげなく使っている消しゴムについて調べてみた。ブラジル産のゴムに鉛筆の文字を消す特性が発見されたのが1770年で日本に入ってきたのが明治初頭の1886年。紙に付着した黒鉛をゴムに吸着させることで文字が消える。それ以前はパンを使って文字を削り取っていた。この『消しパン』に対して食べるためのパンが『食パン』の語源だとする説があるらしい▼美食をテーマにした連載漫画で福島から帰ってきた主人公が鼻血を流す表現が話題となった。福島原発事故における放射能汚染の実態を伝えようと作者が意図したものだ。これについては賛否両論あるものの放射能の影響と現地の状況、復興について考えるきっかけになった。私自身も一昨年、放射線測定器を持って現地に向かった時、警告灯が表示されたことを記憶しているので、全くのフィクションとは思えないが、現地の状況について詳しく報道されていないのは今も変わらない。一方、この作品中には戦時中の強制連行などの表現があり、まるで原発事故から目をそらすかのように反日漫画として批判が展開されている▼劣悪な労働環境で廃炉・除染作業が続いている。復興に横たわる問題を本当に無くすためには真実という消しゴムが必要だと思う。（7字余り）